

# 新旧住民が盛り上げ一つになった「第1回中崎町キャンドルナイト」

study

キャンドルの明かりの中で人と地球を大切に思いながらスローな夜を過ごそうというイベントが、平成21年(2009)12月10日、行われました。会場の旧済美小学校を幻想的な雰囲気包んだのは、住民手づくりの約2800個の

キャンドルホルダー。こうした住民交流の場が実現したのは、町会の方々をはじめ、新旧住民や学生たちの熱い思いがあったからこそ。これからも中崎町の新しい魅力が生み出されていくでしょう。

校庭を彩るキャンドル



40軒の店舗も参加しました。



1 天五中崎通商店街  
500m足らずのアーケード。懐かしくて風情のある、昭和レトロの商店街です。愛称「おいでやす通り」は、戦後まもなくからこの地で店を構える古書店主の命名。  
◆住所：天神橋5丁目～中崎町



2 浄方寺  
浄方寺は大正8年(1919)、梅田の高垣町から移転してきました。当時、中崎町界限は鉄道が整備され、長屋住宅の建設ラッシュ。新しい住民にとって地元でできた浄方寺は心強い存在でした。浄方寺の北側には、大阪市初の産院で医療費無料の本庄産院が、さらにその北には済生会病院がありました。大正時代の「ニュータウン中崎町」の活気に満ちた時代です。  
◆住所：中崎2丁目3の26



3 創思舎  
平成11年(1999)、建築家であるオーナーの目に留まった古民家は、一步入ると原形をとどめていない状態。大改造して念願のアトリエとカフェ・ギャラリー・ライブスペースとしてオープン。その後、若者に注目される古民家再生のさきがけとなりました。いまや中崎町文化の発信基地となっています。  
◆住所：中崎西4丁目2の30



2.5km コース

- 1 JR 天満駅
- 2 天五中崎通商店街
- 3 創思舎
- 4 Rカフェ
- 5 中崎西3・4丁目四つ辻
- 6 白龍大神
- 7 Salon de AMANTO 天人
- 8 旧済美小学校
- 地下鉄 中崎町駅

# 迷宮のレトロタウン 中崎町界限コース

通りも路地もわくわく

震災を免れ、都市開発の波にもさらされず、下町風情が色濃く残る中崎町界限。細い路地を巡ると、懐かしくて新しい、わくわくする出会いが待っています。レトロとアートが調和したまちへようこそ。





Goal

8 旧済美小学校

前身は大正5年(1916)創立の大阪市第三北野尋常小学校。「済美」は「世々その美を濟しその名をおとさす(先祖の偉業を継いでよい行いをする)」という意味です。平成16年(2004)、扇町小学校への統合により閉校になりました。校舎は昭和5年(1930)竣工。アーチ型校門の上部についている校章が重厚感を出しています。中崎町の中心に位置し、住民の大切なイベント会場として利用されてきました。

◆住所：中崎西1丁目6の18



5 中崎西 3・4丁目四つ辻

この四つ辻に立つと周囲の建物の存在感に圧倒されます。立ち止まって東西南北をゆっくり見回してください。高層ビルのそびえ立つ梅田のすぐ隣に、奇跡的に残されたまち並みです。夕暮れ時の明かりに照らされた景色もロマンティック。レトロタウン、絶好の撮影ポイント。

◆住所：中崎西3・4丁目



4 Rカフェ

平成15年(2003)、近畿大学と大阪市立大学の建築を学ぶ学生3人が、卒業制作としてオープンさせたカフェ&ギャラリー。学生による手づくりの長屋再生として注目されました。現在メンバーの1人がそのまま経営を続けています。

◆住所：中崎西4丁目1の20



◆昭和初期の趣が残ります。



◆玄関前の側溝に金魚!



◆築85年の長屋です。



◆戦争中活躍した井戸です。



◆自主映画専門の映画館



◆毎年みんなでペイントしています。

懐かしくて新しいまち並み。お気に入りの場所を見つけてください。

中崎町ギャラリー



6 白龍大神

人とすれ違うのも窮屈な路地の突き当たりにお地蔵さんの祠(ほこら)、その後ろには枯れた楠の古木があります。かつてまだ元気だった楠に「ミイ(巳)さん」が祀られていたとか。「ミイさん」とはヘビの神様、「白龍さん」ともいいます。

現在は地域の方がていねいにお祀りし、年に1度、豊崎神社から宮司を招いたときは地元の人だけでなく新しい店のオーナーも神妙な面持ちで手を合わせます。人と人をつなぎ、まちを守っている白龍さんです。

◆住所：中崎西1丁目9 路地



7 Salon de AManTO 天人

天人の長屋再生の方法は独創的です。古い長屋の改造工事を「空き家再生パフォーマンス」と考えてすべて公開。その結果、近所の人や通りすがりの人、口コミで集まった人などが次々に関わり、のべ1100人以上が手伝ったとか。平成13年(2001)のことです。すべてが手づくり、地域の粗大ごみを再利用して活用、抜いたクギも伸ばして使ったそうです。できあがったカフェ&フリースペースは、ここに集まる人たちが新しい試みを発信する場となっています。

◆住所：中崎西1丁目7の26

